

プレスリリース  
2020年4月15日



一般社団法人がん哲学外来 リモケア事業部  
<https://www.remo-care.net/>

## 高セキュリティなビデオ通話機能と情報共有機能で在宅医療を支援する 「リモケア」が 在宅緩和ケアパスに対応

一般社団法人がん哲学外来 リモケア事業部（所在地：東京都千代田区）は2020年4月15日、コミュニケーション機能を柱とした、在宅医療に関わるすべての人のためのオンライン診療システム「リモケア」について、各地で整備が進みつつある在宅緩和ケアパスに対応する機能を新たに盛り込むとともに、既存機能の使いやすさを向上させるアップデートを行いました。

これにより、ご自宅におけるがんなどの緩和ケア環境の拡充を強力に後押ししてまいります。



### オンライン診療システム「リモケア」

患者を中心とした多職種チームメンバーが、セキュアな環境の下、ビデオ通話や申し送り事項などを共有。在宅緩和ケアパスにも対応しました。

### ■在宅緩和ケアパスの有効活用を促進する「リモケア」

在宅緩和ケア地域連携パス（在宅緩和ケアパス）とは、拠点病院など高度な専門医療を提供する医療機関と、日常的な診療を行うかかりつけ医などが緊密に連携を取り、それぞれの役割に応じた在宅緩和ケアを患者さんに、適切に提供するための“計画表”です。

近年、がん罹患者数の増加と終末期医療への意識の高まりに伴い、こうした在宅緩和ケアの提供体制の一層の充実が求められています。退院後も拠点病院の緩和ケアチームが継続して疼痛管理を行いながら、かかりつけ医主導の在宅医療チームが患者さんの状態といった情報をタイムリーに共有してケアに当たる、双方向のコミュニケーションを駆使した新しい形の連携システムが、在宅緩和ケアパスです。

しかし、現在、各地で続々と立ち上がり始めている在宅緩和ケアパスにおいては、患者さんの大切な個人情報を、紙に書き込んだり、スマートフォンなどで Web システムに登録したりするなど、手間がかかったり情報漏洩リスクが高かったりすることが懸念されます。そのため、多職種がそれぞれの役割から大切な情報を漏れなくスムーズに共有し、要配慮を含む個人情報を適切に保護していく高セキュリティな双方向 ICT ツールが必要となっています。

リモケアの在宅緩和ケアパス機能は、患者さんへの緩和ケアの効果を最大限に高めることにつながり、専門医やかかりつけ医などとの Face to Face のコミュニケーションによって患者さんの不安も解消できます。医療従事者にとっては、セキュリティ管理の負荷から解放され安心してチーム緩和ケアに注力でき、参画する医療機関にとっても、効率性を追求した経営的有用性を見込むことが可能となります。

## ■リモケアの特長

リモケアで利用する専用端末は、医師用／医療スタッフ用／患者用の 3 種類。これらを専用ネットワークと専用サーバーでつなぎ、患者に合わせたチーム医療を行っていただけます。

### 〈世界トップレベルのセキュリティ〉

リモケアは、世界トップレベルの顔認証技術\*により、登録者だけが起動できる専用端末を使用しています（患者用端末は除く）。さらに、医療情報システムに必須の 3 省・3 ガイドライン\*\*に準拠しています。

\* 米国立標準技術研究所（NIST）による動画／静止画の顔認証性能評価で第 1 位を獲得した NEC の技術を導入。

\*\* 厚生労働省「オンライン診療の適切な実施に関する指針」、および厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン 第 5 版」、経済産業省「医療情報を受託管理する情報処理事業者における安全管理ガイドライン」、総務省「クラウドサービス事業者が医療情報を取り扱う際の安全管理に関するガイドライン」

### 〈患者に合わせた柔軟なチーム構築と円滑な情報共有〉

リモケアは、病院・クリニックのみならず、訪問看護、介護、生活支援といった関連事業者、合わせて最大 100 事業者までの機関連携が可能です。患者に合わせた柔軟なチーム医療体制を構築し、細やかな対応を取れます。

患者用端末にはチームメンバー全員がアクセスできるので、直接患者の様子を見たり、話を聞いたり、指導を行ったりできます。患者の様子や伝達事項などの情報は、テキストはもちろん、写真や動画の形で、チームメンバー間で共有できます。

## ■リモケアの主な機能

- **患者別チーム編成**…担当医が、他の医師や看護師、介護士、療法士、薬剤師など、患者ごとに関与メンバーを選び、登録・管理することで、チーム医療のプラットフォームを形成します。

- **ビデオ通話**…患者の診療時だけでなく、多職種から成るチームメンバー間のコミュニケーションにも活用できます。専用端末の内蔵カメラに代えて、マイクロスコープなどの外部カメラ（オプション）をUSB接続すれば、例えば褥瘡など局部の状況も映し出せるようになります。
- **テキスト／写真／動画による情報共有**…専用端末で撮影・保存した写真／動画をダウンロードすることもできます。
- **バイタルデータの登録／表示**
- **スケジュール**…訪問診療／オンライン診療の各予定を登録でき、月間カレンダーの形で管理できます。
- **在宅緩和ケア地域連携パス【新機能】**

## ■「がん哲学外来」とは

がんになって“生きる”ことの根源的な意味を改めて考えようとする患者に対し、今の医療現場は治療をすることに手いっぱい、患者やその家族の精神的苦痛まで軽減させることが難しい状況です。そんな医療現場と患者の間にある“隙間”を埋めるべく、「がん哲学外来」は生まれました。

病院などの医療機関のみならず、身近な場所で、立場を超えて集い交流できる場（メディカルカフェ）を全国に広げています。「がんであっても尊厳をもって人生を生き切ることのできる社会」の実現を目指し、より多くのがん患者が「病気であっても、病人ではない」と思える人生を送れるように、これからも患者に寄り添った活動を継続してまいります。

### 〈会社概要〉

社名 : 一般社団法人がん哲学外来  
 所在地 : 東京都千代田区一番町 23-3 千代田一番町ビル 3階  
 システム・インテグレーション株式会社 内  
 設立日 : 2013年7月3日  
 事業内容 : メディカルカフェ（がん患者や家族の安心につながる対話の場）の開催／がん患者および一般市民を対象としたシンポジウムやセミナーの開催／がん哲学外来市民学会の開催／がん哲学外来コーディネーターの養成／オンライン診療システムの提供 ほか

Web サイト : <http://www.gantetsugaku.org/>

※がん哲学外来 リモケア事業部は、情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）「JIS Q 27001:2014（ISO/IEC27001:2013）」の認証を取得しています（登録番号：J0399）。

## ■お問い合わせ先

一般社団法人がん哲学外来 リモケア事業部  
 メール : [sales@remo-care.net](mailto:sales@remo-care.net)（セールスサポート）